大阪社会人ハンドボールリーグ
特別ルール・要確認のルールについて

2026年4月19日

大阪社会人ハンドボールリーグ特別ルール

・試合登録人数は無制限に認める。（試合に何人でも出場できます。）

・チームのメンバー全員がスポーツ傷害保険に加入していること。

・多重登録は認めない。（リーグ期間中に他チームへの移籍は禁止。
　男子１部2部3部のいずれかの１チームとシニア１チームの重複登録は可）

・試合時間は 25分－10分－25分 で、延長、PTCは行わない。
※試合間は一定の時間を確保するのではなく、日程表通りの開始時刻に試合を開始するよう努めること。

・タイムアウト（チームタイムアウト、PT時のレフェリータイムアウト）は採用しない。

・長居等、天井が低い・低い位置にネットが張ってある場合特有のケースですが、
エリア内の天井にボールが当たった場合は、最後にボールに触れた選手と反対チームのスローインとなりますので注意。

・上記以外はハンドボール競技規則に従って行う。
日本ハンドボール協会<競技規則>のページURL：http://www.handball.or.jp/rule/index.html

過去からのルール変更の再確認

1）GKの顔面

GKと1対1で打たれたシュートが GKの頭部へ直撃した際の罰則の適用が開始されています。
GKの安全にも関わる内容ですので、詳細な内容につきまして各チームで今一度ご確認ください。
なお、PTの場合にボールの方向へと頭部を動かしていない GKの頭部にボールをぶつけると
失格になります。

2）「プロポケーション」、「オーバーリアクション」、「シミュレーション」

①プロポケーション、②オーバーリアクション、③シミュレーションが定義され、
①②は段階罰、③は即座に 2 分間退場の判定となります。

3）スローオフエリアの採用

YANMAR HANASAKA STADIUMの南練習室・北練習室では、コートにあらかじめ書かれている
エリアをスローオフエリアとします。
千島の場合は、コートの中心から半径 3m以内を定義することとし、判断は審判に委ねます。

社会人リーグでは採用しないルール

1）負傷者のコート復帰制限
　3回の攻撃を経た後にしかコートに復帰出来ない。
　→3回の攻撃を経なくても復帰可能とする。

2）ブルーカード
　報告を伴い別途処分を与える失格。
　→当リーグではブルーカードは無しとする。

既存のルールについて

日本ハンドボール協会のページで、競技規則等がダウンロード出来ます。
（URL等は変更となる可能性があるため、各自調べてください。）
本資料で挙げたルール以外に、既存のルールも良く理解しておいてください。